

平成30年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：総務・医療企画担当
 内線：3535 (単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|----------------------|---------|--|-----|-----|-------|------------------|------------|
| B23 | 特殊救急医療体制（耳鼻咽喉科）整備事業費 | | 一般会計 | 衛生費 | 医薬費 | 医薬総務費 | 医師確保対策費 | |
| 事業期間 | 平成26年度～ | 根拠法令 | | | | 宣言項目 | 02 健康・医療・介護の安心確保 | |
| | | | | | | 分野施策 | 020307 地域医療体制の充実 | |
| 1 事業の概要 休日に受診医療機関を探すことが特に困難な耳鼻咽喉科について、県内の東西2か所で診療所の当番医を定めて初期救急を実施、併せて全県1か所で重症患者にも対応する大学病院などによる二次救急体制も整備し、患者の応需体制を確保する。 (1) 特殊救急医療体制（耳鼻咽喉科）事業 18,522千円 | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 特殊救急医療体制（耳鼻咽喉科）事業 18,522千円 実施体制：初期救急 県内を東西2地区に分けて診療所を中心とした輪番制 二次救急 全県1か所で大学病院などによる輪番制 診察日時：日曜、祝日、年末年始の午前9時～午後5時 (2) 事業計画 平成26年度（平成26年10月～） モデル事業開始 平成27年度 モデル事業の実施、事業効果・課題等の検証 平成28年度～ 耳鼻咽喉科の救急医療体制事業の継続 (3) 事業効果 ア 県民が休日に耳鼻咽喉科を受診できる体制が確保される。 イ 軽症患者の受け皿として高次救急医療機関の負担が軽減される。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地域の開業医の連携協力体制を県が支援 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円 | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| 決定額 | 18,522 | 繰入金 | 18,522 | | | | 0 | 221 |
| 前年額 | 18,301 | | | | | | 18,301 | |